祝賀会

第47回
社会貢献者表彰式典
公益財団法人 社会貢献支援財団
帝国ホテル 二階 孔雀の間
平成28年11月28日(月)

矢澤健司

第47回
社会貢献者

第47回
社会貢献者

第47回
社会貢献者表彰祝賀会

第47回
社会貢献者表彰祝賀会

第47回
社会貢献

社会貢献者表彰祝賀会

社会貢献者表彰とは

国の内外を問わず、社会と人間の安寧と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げられながら、社会的に報われることの少なかった方々を表彰させて頂き、その功績に報い感謝することを通じてよりよい社会づくりに資することを目的とする。

社会貢献者表彰の概要

【募集告知】
平成28年１月中旬より、ダイレクトメール発送、新聞への告知広告、当財団ウェブサイト等にて

【対象となる功績】
・人命救助の功績（平成29年７月21日表彰予定）
・社会貢献の功績（一部平成29年７月21日表彰予定）

【候補者について】
・候補者には、年齢・職業・性別・信条・国籍等の制限はない
・候補者は、同種の功績により当財団の「社会貢献者表彰」を受賞されていない方とする
・候補となった功績と同一または同種の功績により、既に国の栄典（叙勲、褒賞）または・大臣表彰等を受賞されている方は、選考の際、後順位とされる
・「人命救助の功績」については、原則として、平成27年１月１日以降の功績を対象とし、この功績の場合のみ、当該行為により亡くなられた方を含む

【選考について】
選考委員会開催日：平成28年６月22日　帝国ホテル東京

【受賞者】
受 賞 者：79件（内28件は平成29年７月21日表彰予定）
応募総数：175件

【表彰式】
開催日：平成28年11月28日　帝国ホテル東京
受賞者には表彰状、副賞として日本財団賞（賞金）を授与する

受賞者手記目次

■社会貢献の功績

塗魂ペインターズ …… 036
田中　三紀子 …… 038
特定非営利活動法人　日本喉摘者団体連合会 …… 040
更生保護法人　函館創生会 …… 042
だんだん　こども食堂 …… 044
認定特定非営利活動法人　アレルギーネットワーク京都　ぴいちゃんねっと …… 046
NPO 法人　ワンファミリー仙台 …… 048
住田　佳子 …… 050
特定非営利活動法人　宮前ふれあいの家 …… 052
花と一万人の会 …… 054
川口自主夜間中学 …… 056
町田市民間交番運営委員会 …… 058
丹沢　こと子 …… 060
特定非営利活動法人　SOS 子どもの村 JAPAN …… 062
大牟田 一美 …… 064
NPO 法人　ポケットサポート …… 066
NPO 法人　札幌チャレンジド …… 068
NPO 法人　女性と子ども支援センター　ウィメンズネット・こうべ …… 070
認定 NPO 法人　ロージーベル …… 072
岐礼さくら会 …… 074
社会福祉法人　太陽の家 …… 076
NPO 法人てーねん・どすこい倶楽部 …… 078
多田　千賀子 …… 080
池上　千寿子 …… 082

矢澤　健司 …… 084
滝口　仲秋 …… 086
特定非営利活動法人 珊瑚舎スコーレ …… 088
岐阜県立岐阜高等学校　自然科学部　生物班 …… 090
特定非営利活動法人　クックルー・ステップ …… 092
一般社団法人　海っ子の森 …… 094
特定非営利活動法人　反貧困ネットワーク広島 …… 096
社会福祉法人　仙台いのちの電話 …… 098
大山の頂上を保護する会 …… 100
NPO 法人福岡すまいの会 …… 102
新宮山彦ぐるーぷ …… 104
鈴木　都 …… 106
矢満田　篤二 …… 108
中川原町連合町内会 …… 110
聖明福祉協会・盲大学生奨学金事業 …… 112
社会福祉法人　温友会　いずみ通所センター …… 114
生田　武志 …… 116
社会福祉法人 アンサンブル会 …… 118
さいもんめ …… 120
一般社団法人　日本聴導犬推進協会 …… 122
社会福祉法人　クリスト・ロア会　児童養護施設　聖ヨゼフホーム …… 124
田中　元介 …… 126
特定非営利活動法人　チームふくしま …… 128
井本　勝幸 …… 130
田中　幸子 …… 132
故　荒岡　憲正　故　荒岡　正宏　荒岡　倫子 …… 134
公益財団法人　どうぶつ基金 …… 136

社会貢献の功績

- 精神的、肉体的な著しい労苦、危険、劣悪な状況に耐え、他に尽くされた功績

- 困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧、幸福のために尽くされた功績

- 先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績

- 海、山、川などの自然環境や絶滅危惧種などの希少動物の保護に尽くされた功績

補足：社会貢献の功績は、日本国内での日本人並びに外国籍の方、海外での日本人による活動など、広い活動を対象とします

塗魂ペインターズ

会　長
宮嶋　祐介

群馬県

「塗装でできる社会貢献」というテーマを掲げ、全国の塗装業者の有志たちが仕事とは別に集まり、被災地や必要とされているところへ行き、建物や遊具などを塗装するボランティアを行っている。2009年に現在団体の会長代行を務める池田さんが、企業による社会貢献活動に興味を持ち、同業者の有志５、６人で発足させた。現在有志は143に増え、年間５万円の会費を払い、活動を行っている。ペインターズの活動に係る交通費、宿泊料などはすべて自己負担で行われ、塗料は賛同してくれる塗料メーカーが協力してくれる。これまでに約75ヵ所の塗装実績があり、年間30件、月２～３回くらいの依頼を受け、幼稚園、市役所、駅、公園などの塗装を手掛ける。東日本大震災の被災地へは毎年１回、全国公認行事として塗魂ペインターズの有志達が全国から150名程集まり、ボランティア塗装を行っている。今年は塗魂インターナショナルも発足し、ハワイのキャンベル高校、ホノルル妙法寺、そしてベトナムの病院などのボランティア塗装を行い、さらに、リトアニアの杉原千畝記念館の海外ボランティア活動も予定している。

私たち、塗魂ペインターズの存在意義とは何か。

先ずは塗装業界の地位向上を目的として、『塗装で出来る社会貢献』をテーマに掲げ、私たちにしか出来ない強みを活かして、地域を活性化することです。

また、会員一人ひとりがCSR活動を通じて、社会や環境に対してしっかりと責任をもって良い影響を与えていくことで、社会から信頼を得ることにも繋がると考えます。

社会貢献とは、決してボランティア活動で何かを行うという奉仕活動が目的ではなく、その強い想いや行動に対し、関わる全ての人々の心の中に、幸福の明かりを灯すことだと思います。

人との関わり合いが希薄になりつつあるこの世の中で、誰かの為にと相手の喜びを自らの幸福と感じられる心こそが、これからの社会をさらに強いものにしていくのではないかと願います。そしてその灯した明かりは、必ずや自分たちの前をも照らしてくれる事と私たちは願うばかりです。

たった一人の力は小さくとも、同じ志しを持った仲間が集まれば、一念岩をも通すことができると、私たちは本気で思います。

しかしながら、そのような活動も、決して想いだけで全てが自己犠牲では継続できません。

大切にしなければならない根は、『自他共の幸福』です。

社会という、激しい市場の変化の中に私たちは存在します。紛れもなく、ここにいる塗魂ペインターズ全員が、同じ荒波の市場の中を生き抜いています。

その中で、ひとりの力では決してなし得ないことも、ここにいる心から分かり合える仲間がいれば何でも出来る！そしてひとりの例外もなく、幸せな人生を共に歩んでいきたい！と強く願います。

そして、この塗装仕事を通じてさらに大きく社会に貢献をしていく。会社を大きく成長させて、一人でも多くの雇用を地域で生みだし、一人でも多くの、日本の未来を担う若者を育成して世に輩出しなければなりません。

そして本業である塗装を通じ、社会に役立つ活動を誠実に行い、しっかりと税金を納める。このサイクルこそが、私たち企業としとの最大の使命、存在価値ではないでしょうか。また私たちが世に叫ぶ、社会貢献活動ではないでしょうか。

決して無理をせず、見栄を張らず、一生涯活動し続けてこそ価値は高まっていくものだと思います。一人ひとりが、人格を磨き続け、利他の精神を忘れずに、自他共の

幸福をしっかりと実現してまいります。
　最後になりますが、
　この度、こうして私たちの地道な活動を認めてくださり、心より感謝申し上げます。会員一人ひとりが、本当に励みになりました。
　これからも、この偉大なる塗魂ペインターズを世に誕生させてくださいました諸先輩方へ心より敬意を払い、さらに世の中に必要とされる団体を目指してまいります。

会長　宮嶋　祐介

▲北海道夕張ボランティア

▲2015年　名古屋ボランティア

▲2015年　ハワイキャンベル高校ボランティア

▲2016年　女川小学校ボランティア

▲2015年　常総ボランティア

▲結成披露宴

▲2016年　新潟ボランティア

▲新潟ボランティア

▲東京巣鴨ボランティア

田中　三紀子

福井県

福井県武生市（現越前市）で、平成12年に障がいがある子どもの保護者数人と「エンジェル・キッズ」を結成して放課後等デイサービス事業に取り組み、その後NPO法人の認定を受け、障がいのあるなしに関わらず地域で生きていく事を目的に社会と解け合う場の提供や生活介護事業を行っている。当時、障がいの性質別に複数存在していた保護者の団体をネットワーク化させ、当事者や保護者の発言力を高め、組織未加入者も気軽に参加でき、情報交換が図られ、市の保育や教育現場での支援員の配置、障がい者就労支援施策などに貢献した。

（推薦者：越前市）

この度は、すばらしい賞を頂きありがとうございました。身の引き締まる思いです。これまで支えて下さった方々のおかげと感謝しています。

私は、32歳になる重度障がいのある娘がいます。ずっと地域の中で暮らしていきたいと思っていました。しかし、高校に入った頃は学童保育もなく、卒業後の行先もありませんでした。行政の方の理解と力添えをいただき、保護者のネットワークや、地域活動の交流など輪が広がりました。

そして、2000年の夏、障がいのある子の母親同士で「母子だけでの外出は限界があるし、あー、また長い夏休み、引きこもり生活だね」と切実な言葉からエンジェル・キッズが誕生しました。保護者とボランティアさんとで学童保育を開始、2003年にNPO法人格をとり、障害者デイサービス事業も始めました。小学校１年生から学校を卒業した後も、みんなで一緒に活動をしています。夏休みは、安全に十分気を付け、恐竜博物館、海水浴、川で魚釣り、ぶどう狩りなど盛りだくさんでお出かけをしています。18歳以上のグループの毎日のお仕事は、紙すきやクッキー作りのほか畑で野菜を作り、給食に使用しています。

私個人は、法人の理事長として関わるだけでなく、利用者の昼食の調理員を兼ねさせていただき、少しでも皆の元気のもとになってもらえたらと考え、利用者さんとスタッフが同じ空間で同じ食事をとり、「おいしいね」「自分達で育てた野菜だね」などと、共感できることを幸せに感じています。

保護者の方は、初めて障がいのある子に出会い、どう育てて良いか、不安でいっぱいです。成長と共に心配する内容も変わっていき、また、子どもに対する思いも保護者一人ひとり違います。でも、子どもにとってベストな状況を作りたいという思いは同じです。スタッフも含めて、みんなで悩み考えていける場所でありたいと思っています。保護者も子どもも笑顔でいられる空間であります様に…。

そして、障がいのあるなしに関わらず、越前市で暮らすすべての子ども達が安心して笑顔でいられる町でありますように願っています。

受賞者の懇親会の意見交換会でみなさんのご苦労話をお聞きし、51名の方々のパワーをいただき、とても貴重な時間でした。これからも、みんなで力を合わせて頑張っていきます。

本当にありがとうございました。

▲表彰式典にて

▲賞状を受け取る田中さん

▲農作業

▲夏休み活動写真（パン作り）

▲夏休み活動写真（海水浴）

▲エンジェルキッズ　イラスト

特定非営利活動法人　日本喉摘者団体連合会

会　長
松山　雅則

東京都

喉頭がん、咽頭がんなどの頭頸部のがんによって声帯を含む喉頭を摘出し、発声機能を失った人たちに、食道発声、電気式人口喉頭（EL）発声、気管食道瘻（シャント）発声などの代用音声の獲得にサポートする全国57のボランティア団体で構成され、これらの発声法や研究及び指導を行い、福祉向上に寄与することを目的に活動している。東京都港区を拠点に昭和45年に26団体で発足し、現在約6,100人の会員が全国151ヵ所の教室で指導を受けられる。発声指導員の資格制度を確立して、全国で668人の発声訓練士を誕生させた。各代用音声の訓練教材をはじめ、発声訓練士のために指導カリキュラムや指導マニュアルなどを作成し、発声訓練士の質の向上と維持を目的に指導の標準化を図っている。喉摘者の発声研究・指導・資格、開発・親睦などの活動とともに障害者等級、障害者年金、日常生活用具の公費負担、指導員養成助成金など、公的支援に向けての活動を展開し重要な役割を果たしている。

（推薦者：公益社団法人　銀鈴会）

特定非営利活動法人 日本喉摘者団体連合会（日喉連）が公益財団法人 社会貢献支援財団による社会貢献者表彰を受けました。設立以来45年に亘る長年の先輩達の活動が評価されての受賞と思っています。今回の受賞は日本全国で活動する喉摘者団体にとって大変な励みになるものと深く感謝いたしております。

日喉連は喉頭がん、食道がん、甲状腺がんなどで声を失った者の組織する団体で全国に57団体151教室があります。教室ではコミュニケーションに必要な新しい声の訓練を通して社会復帰および会員相互の交流をはかっています。指導する訓練士も同じ喉頭摘出者です。食道発声、電気式人工喉頭（EL）発声、シャント発声などの訓練を通して声を取り戻すことができます。

日喉連は昭和45年に誕生し、現在は全国約6100人の会員が容易に指導を受けられるようになっています。人間にとって大切なコミュニケーション手段である声を失ってしまった私達は、先に声を失った先輩喉摘者が新人喉摘者に発声を無報酬で指導するというピアサポートを45年に亘って続け、３万人を超える喉摘者を指導してきました。手術後の喉摘者が入会して、お互いに支え合い励まし合いながら発声練習に励み、失意と不安から立ち上がり、やがてスピーチが出来るまでに上達していく姿には感動を覚えます。

平成25年には主役である発声訓練士の立場を明確にするために、日喉連認定による資格制度を確立しました。現在この資格を持つ発声訓練士は全国で668名が活躍しています。日喉連は訓練士養成研修会や喉摘者による発声大会などを開催し、また訓練教材、指導カリキュラム、指導マニュアルなどを作成して発声訓練士の質の向上と維持をはかっています。障害者等級、障害者年金、日常生活用具の公費負担、訓練士養成助成金などの公的支援活動においても重要な役割を果たしてきました。

私達患者は医療の進歩により一命を取り留めましたが、仲間の中には声を失い今後どの様に生きていくかを悩む人も多数おり、「その一助になりたい」という志でボランティア活動を行っています。諸先輩の長い年月の活動に感謝し、この志を大切に引き継いでいきたいと考えております。今回の表彰を通して数多くのボランティア団体の活動を知り、大変刺激を受けました。私達も更なる意欲をもって活動することを決意したところです。

会長　松山　雅則

▲発声訓練士資格認定証

▲B発声教室　全体発声風景

▲発声教室　マンツーマン指導の様子

▲遠隔地巡回発声教室　集団指導の様子

▲全国喉摘者発声大会　スピーチ風景

▲声帯を失った人による歌の大祭展　全国喉摘者カラオケ大会

更生保護法人　函館創生会

理事長
小笠原　孝

北海道

明治40年（1907年）に函館監獄の教誨師藤井大威らが「函館出獄人保護会」を監獄の一画に構えたことを起源とする更生保護施設。平成８年に現在の「更生保護法人函館創生会」となり、組織変更と改称を重ね100年以上の長きにわたり、帰るべき場所のない刑務所出所者などを保護している。同18年より「入所者に再犯をさせず一日も早く自立させる」「入所者の今後の生き方を考えさせる学校のような更生保護施設を作る」との考えのもとに、就労支援、退所先確保支援、金銭管理指導、と再犯防止、更生意欲喚起、心身の健康維持のためのミーティングや清掃ボランティアへの参加、誕生会の開催、「生き方教室」や「写経教室」「書道教室」などを行っている。同27年には「巴寮」の定員を15人から20人に増やし、年100人程を収容保護し、１人平均３ヵ月で自立更生に導いている。常勤職員６人、非常勤職員３人、日直・宿直協力保護司13人。更生保護女性会会員が土曜日に「男の料理教室」を、日曜日には夕食を作り寮生と共に食事する「ふれあい夕食会」を実施している。また「引き受ける」としている刑務所在所者に３ヵ月に１回各自宛てに手紙を書いて「函館創生会隔週通信」６通を送り続けている。

（推薦者：更生保護法人　両全会）

2016年（平成28年）11月27日（日）・28日（月）は、私どもにとって「感謝」と「感動」、「やる気」と「勇気」などを与えて下さった２日間でした。

第一は、事務局の皆様方が、用意周到、厳粛かつ整然と私たちを迎え入れて下さったことへの感謝と感動でした。

第２は、私たちを除いて、全国にはこんなにもたくさん「崇高な志」を持ち私財を投げ打ってまで世のため人のために活動している方々がおられるのかという驚きと感動でした。

第３は、私たち更生保護法人函館創生会は明治40年８月から先人の方々が知恵と資金と労力を出し合い、不幸にして罪を犯した人々の社会復帰を支援し続けてきた109年に及ぶ歴史の重たさとその方々の御苦労に思いをはせることが出来たことでした。

第４は、安倍昭恵会長や内館牧子表彰選考委員長、笹川陽平日本財団会長のご挨拶を通じて社会貢献者表彰の趣旨が良く理解でき、より一層高い志を定めて、役職員が一致協力して事業を進展させなければならないとする「やる気」と「勇気」を与えて下さったことでありました。

いただいた表彰状は額に納め、平成26年12月に天皇陛下から賜った御下賜金の「御沙汰書」を入れた額と共に玄関の壁に掲げて朝夕それを見て「今日も頑張るぞ！」と心を引き締めて、これから増え続けると思われる高齢者や覚せい剤事犯者などを中心に罪を犯した人たちの自立更生のために支援を続けていかなければならないと決意を新たにしているところであります。

本当にありがとうございました。

最後になりましたが、私どもの更生保護法人を推薦してくださいました、東京渋谷区代々木の更生保護法人両全会小畑輝海理事長及び表彰式典に公務多端のおり、まげて駆けつけて激励してくださいました畝本直美法務省保護局長、坂井文雄全国更生保護法人連盟理事長をはじめ関係機関・団体の皆様方に深甚なる謝意を申し上げます。

理事長　小笠原　孝

▲男の料理教室

▲「ふれあい夕食」更生保護女性会員による夕食作り

▲写経教室で写経した般若心経の納経

▲書道教室

▲清掃活動のボランティア

▲巴寮外観